



週報

D2630

Weekly Report, Gujyo nagaragawa Rotary Club

郡上長良川ロータリークラブ

第47期クラブテーマ

地域社会と共に！ ～輝け オンリーワン～

第47期 2024.7～2025.6

会長：山下 誠
副会長：羽土 洋司
幹事：石徹白秀也例会日：毎週水曜日 18:30 (6月～9月末 19:00)
例会場及び事務所：白鳥町農業指導センター 2F
TEL: 0575-82-3822 FAX: 0575-82-5191
E-mail:gsc@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会第2164回
令和6年8月21日（水）

本日の行事 外来卓話（地区会員増強委員長 亀井和彦様）

2024～25 年度 山下 誠会長

本日のお客様 地区会員増強委員会

委員長 亀井和彦様

幹事報告 石徹白秀也幹事

*8月ロータリーレート 1\$ 154 円

*ガバナー事務所より

・ガバナー月信 5.6月号会員数報告について

- * 地区大会事務所より
- ・地区大会登録 50%協力のお願い
- ・クラブ活動報告作成のお願い
- ・地区大会信任状証明書提出のお願い
- * 米山奨学会よりハイライトよねやま 293 号
- * 週報拝受 関、関中央、志摩 RC
- * 例会変更 可児、関中央、関、美濃 RC

第2163例会報告

■会長挨拶

2024～25 年度 山下誠会長

光蓮寺様、本日は夜分にも関わらずお越しいただき、ありがとうございます。
郡上長良川ロータリークラブも 47 期を迎え、先人たちが築き上げた足跡を考えると、本当に素晴らしい歴史を刻まれてきました。先人たちが我々に今日の基盤を作ってくれたこと、感謝を申し上げたいと思います。

毎日暑い日が続きます。通常なら水曜日に例会が行われますが、本日は各委員会の行事を重ねての事で、委員会活動をしていただいていることに心から感謝致します。

私はこの 1 ヶ月、会長の時間に急に皆さんに話を振ってきました。以前に畠中君が「会長の時間は自由に使っていい。何してもいい」と言ってくれましたので、みんなと共有していく方がいいなと思い、色々皆さんに話を聞いていただきました。自由に使っていいとなるとアイデアが浮かんできています。お叱りを受けるかもしれません、会員の皆様が何か持つてもらえるような良い会にしていきたいと思っています。

先日、大村さんに「こういう事を思うが、どうだろうか」と聞くと「それ、いいな」と言わされました。実は親父から習った格言や、自分が思っている格言をもっていらっしゃると思います。会員同士で格言を共有できたり、子供たちに伝えられるようなことがあってもいいのではと思いました。どうか横着いことを言っていますが、益々みんなで磨きをかけた輝けオンリーワンをしていただこうと思います。会長として頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

■ご法話

光蓮寺 島 仲住職

本日は悲願寺さんから依頼を受け、法話をさせていただきます。

仏典童話というものがあり、仏教の経典を基にした物語を紹介したいと思います。内容をかいづまんでは話をすれば伝わると思いますが、童話のような文字で起こされている物は、原文をそのまま伝えたほうがいいと、テレビでやっておりましたので、読ませていただきます。インドの言葉が入っていますので、ややこしい名前で間違えるかもしれませんので、ご了承下さい。

題名は「まんた旅 パンタカ二人」です。

「ジャージャガハの街にマンタタと、ジュンタマンタタという兄弟がいました。お祖父さんは兄を連れてお釈迦様のお話を聞きに行きました。やがて兄はお釈迦様のお弟子になりたいと思いました。お祖父さんは喜んで許しました。兄は生まれつき賢く、その上熱心に努力したので、直ぐに立派なお弟子になりました。ある日、兄はふと弟の事が気にかかりました。迎えに行くとお祖



父さんは細い目をもっと細くして言いました。“お前が弟を迎える日をわしは毎日待っていたよ”おじいさんは弟子の僕よりもずっとお釈迦様の教えが身についてる。孫の本当の幸せを考えてくれた。兄は熱い心で弟をお釈迦様の元へ連れていきました。弟は素直な性格で、骨惜しみもせず、毎日の務めを果たしました。ところが一つだけ困ることがありました。暗記することが大の苦手でした。弟はお弟子の誰もが知っている牛飼いの教えの歌を覚えたいと思いました。必死の努力をしてやっと始めの一曲を覚え、二曲目に取り掛かると、前の曲を思い出すことが出来ません。始めてから4ヶ月が過ぎました。始めの間は弟の事が可愛そうに思っていた兄も、だんだん嫌になってきました。お弟子の誰も弟をバカにしたり、兄を笑いものにしませんでした。しかし兄は落ち着きませんでした。心の中で僕たちを嘲笑っているかもしれない。こんなことなら弟を連れてくるのではなかった、兄の心にそんな思いがちらつきかけた頃でした。

町の医者がお釈迦さまとお弟子たちを食事に招待したいと言い出しました。弟子の人数を知らせるのが兄の役目でした。兄は弟を数に入れないので報告し、弟を呼んでこっそり家に帰るように言いつけました。弟は悲しんで泣きました。物覚えが悪いのは確かですが、お釈迦様を慕う気持ちが強く、ここを出していくのはつらかったのでした。弟が泣きながら歩いていると、お釈迦さまが訳を訪ねました。弟が涙をふきふき事情を話すと、お釈迦様は優しく言いました。“あんたが泣くことはない。誰にでも苦手な事があるんだよ。あんたにも誰にでも得意な事がある。あんたは何が得意かね”弟は心が少し安らいで考えました。“はい、私は掃除が好きです”弟が明るい声で答えると、お釈迦様は傍らの真っ白い布を渡しました。“ではこれで、壁を磨いておくれ。磨きながら、ちりを払い、ちりを払いと理解してご覧”弟はわき目も振らず、自分の部屋の壁を磨きました。次の日、お釈迦さまとお弟子たちは医者の招待を受けに行きました。その時お釈迦様はおっしゃいました。“弟子が一人足りないようだが”兄が答えました。“はい、弟はあまりにも物覚えが悪いので家に帰しました”お釈迦様はおっしゃいました。“私の弟子の中に欠点のない者がいるだろうか。また欠点のない者に仏の教えが必要だろうか。ジュンタマンタタを迎えに行きなさい。”兄はたちまち過ちに気付いて弟を迎えに行きました。すると弟の堂々とした歌が流れてきました。“ちりを払え、ちりを払え”まさしく弟の声です。おずおずと消えそうな昨日までの声ではありません。戸を開くと弟は輝くばかりの顔でひたすら壁を磨いています。兄は思わず合唱をしていました。」というお話を聞きました。

普通に考えますと、人間誰でも欠点があって弱い所もありながら、そういう人は助けなくてはいけないという風にしてしまう、それが当たり前なんだろうと思いますが、もう一つ言えるのは、お兄さんはその人の弟を助けるというプレッシャーがあったのではないかと思います。お兄さんのプレッシャーも取り除いていく事を考えないと、なかなかうまくいかないと思います。病気を持った弟妹がいる兄や姉は、一見いい子に世の中にはみえますが、同じように苦労しているんだろうなと、そういう所も見ていかないと、片方だけ病気で可哀そだと言っていてはだめだと思います。皆さん方は上に立って指導したり、社員に色々話をされると思いますが、弱い人だけでなく、立派な人にも目を向けて頂ければと思います。これで終わらせていただきます。ありがとうございました。



■ニコBOX

ニコBOX委員会 大村太郎君

山下誠君 光蓮寺様、本日はよろしくお願ひ致します。異常な暑さの毎日ですが、適切な体調管理を怠らず、乗り切りましょう。

石徹白秀也君 光蓮寺様、よろしくお願ひします。

寺田澄男君 光蓮寺 島住職様、物故者法要お勤めありがとうございます。暑い日がしばらく続くようです。熱中症には気を付けましょう。

(同文) 大村太郎君、藤代昇君、和田良一君、羽土洋司君、小島正則君、原義明君、井俣愛美君、杉山賢君、鷺見文代君

美谷添里恵子君 (同文) 清和さんは16回目のお盆を迎えました。早いものです。

遠藤正史君 (同文) 8月に入って、白鳥踊りも益々盛り上がります。

佐藤備子君 コンポストからスイカが生えてきて、実になりました。孫と楽しみにしています。

鷺見啓児君 暑いですね。でも食欲は落ちません。

■次週行事予定

8月28日 クラブフォーラム
9月4日 社会奉仕の勉強

■出席報告

出席委員会 鷺見啓児君

	会員数	出席者	欠席者	補正者	出席率
2162回	30名	24名	5名	1名	83.33%
2163回	30名	19名	8名	3名	73.33%